



環境活動家 谷口たかひさ
氏学校講演開催のお願い

01.谷口たかひさ氏の紹介

谷口たかひさ氏プロフィール

1988年生まれ、大阪府出身
10代で起業し、イギリスへ留学
卒業後グローバルIT企業の役員(CEO)をつとめながら社会課題の解決を志しドイツへ移住し起業。
2019年気候危機の深刻さを目の当たりにし「地球を守ろう」を立ち上げ、気候危機の発信や講演を開始。

- ・ コスタリカ在住の環境活動家 & 実業家
- ・ 渡航歴95カ国、日本では報道されない事を発信
- ・ 講演内容は気候変動 & 自己肯定感など
- ・ 映画『夢みる給食』出演
- ・ 2021年 国連総会で司会 & スピーチ
- ・ 2023年 国会、TEDx
- ・ 世界16か国で講演(2000回以上) 2025年2月現在
- ・ 全国各地の小・中学校での講演回数(500回超)
- ・ 国内公的機関・企業での講演実績

名古屋文理大学短期大学部、同志社女子大学、鹿児島大学、立命館アジア太平洋大学、神奈川県地球温暖化防止対策センター、公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本、三井物産スチール株式会社、ロンハーマン、トヨタ自動車 他

・ 著書『シン・スタンダード』(amazon和書総合1位)



02.活動実績

2021年9月22日 国連総会スピーチ

谷口たかひさスピーチ@2021年国連総会

気候変動・気候変動とは、化石燃料の燃焼をはじめとした人間の活動を主な要因と...

UNGA CONFERENCE 2021

PANEL 2:
CLIMATE CHANGE and ECOLOGICAL THREATS

Moderator

Takahisa Taniguchi

Takahisa Taniguchi
Environmental Activist
Japan

REGISTER NOW

www.unga-conference.org

谷口たかひささんは日本の環境活動家です

共有

見る YouTube

国連総会で日本を代表してスピーチを行いました。

“国連総会…国際連合の主要機関の一つで、安全保障理事会と並ぶ最高機関。全加盟国によって構成され、国連憲章の範囲内にあるすべての問題や事項について、討議し勧告することができる。毎年1回、9月に定期総会を開く。”

今回はその国連総会の『気候変動と生態学的脅威』のパートで、司会兼、気候変動の実態、活動の紹介などを話させて頂きました。

スピーチの内容は下記、もしくは QRコードより
<https://youtu.be/3gTYhad7zsl?si=y6ssAqdZMXsZHHwy>



谷口たかひささん環境講演会 皆が知れば必ず変わる

気候変動について講演する谷口たかひささん―読谷村地域振興センター―



【読谷】読谷村立古堅小学校4年生の佐藤奏楽さん(9)が主催する「環境活動家の谷口たかひささんの講演会」がこのほど、読谷村地域振興センター大会議室で開かれた。主催の佐藤さんは母の綾

読谷村地域振興センター

古堅小4年 佐藤さん主催

主催者としてあいさつする佐藤奏楽さん



子さんのサポートも受けて、自身が通っている沖縄市のフリースクール「LINO」で2会場での講演会を行い、読谷会場には56人が参加した。講師の谷口さんは、スウェーデンの小学校は教科書で「あなたが影響を与える

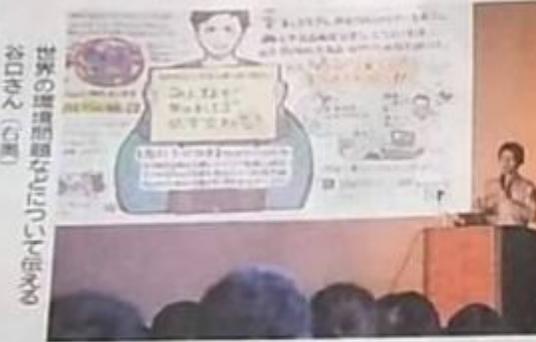
方法」として①署名で支援を集める②新聞に投書する③SNSで拡散する④人を集めてデモを行う⑤政治家に連絡を取る―ことを教えていることを紹介した。また、谷口さんは「環境を大切にしないと真つ先に突然なくなるのは『自然』ではなく『平和』」だと話し「皆が知れば必ず変わる。気候変動に『無関心』でいられる人はいても、『無関係』でいられる人はいない」と訴えた。主催者の佐藤さんは「谷口さんの『私は私』という言葉に感動した。だから自分のやることを認めてあげたいと心から思った」と笑顔で話した。(喜納高宏通信員)

笠岡・井原・浅口圏別

みんなで行動 地球守ろう

環境活動家の谷口さん 笠岡・新山小で講演

世界的な気候変動の実態を啓発する団体「地球を守ろう」代表で環境活動家の谷口貴久さんを招いた講演会が、笠岡市山口の新山小であり、谷口さんが世界の環境問題について現状を伝え、知ることと行動することの大切さを訴えた。授業でSDGs(持続可能な開発目標)について学んだ同小児童が初めて企画した。(山本貴之)



谷口さんはドイツでプラスチックを減らすための代替品を扱う事業などを手掛けてきた。2019年9月から同小で講演活動に取り組み。同小での講演は10日にあり、累計759回目となった。

講演では、乾燥や高温などにより発生したオーストラリアの森林火災や、南極の水が解け、動物が絶滅の危機にひんしていることなどを写真やニュースを示して紹介。「南極の水が解ければ海面が上昇し人間が住める土地も狭くなる」として、「資源の奪い合

SDGs 学んだ児童企画



谷口さんの講演会を企画した藤井さん(右から入目)ら児童会メンバー

いに対する危機感が高まっている。気候変動は平和の問題につながる」と訴えた。また「マイバッグやマイ箸を使えばごみを減らせる」と身近な取り組みを示し「環境に優しい商品を買うことで企業に、選挙で投票することで政治に意思表示をするなど行動することが大事」と強調した。市内外の100人が聴いた。9月、児童会が谷口さんに手紙を書き講演を依頼した。チラシやポスターを配布して聴講者を募った。また、同小では児童会が毎週「節電の日」「節水の日」を呼び掛けているほか、児童の発案で地域のごみ拾いにも取り組んでいる。児童会長の6年藤井彩乃さん(11)は「みんなで協力して講演会を開けた。後輩たちにも受け継ぎたい」として、「小さなことから取り組みれば未来は変わると思う」と話していた。

小平十一小で環境活動家・谷口たかひささん講演 児童に環境問題の深刻さ紹介



環境活動家の谷口たかひささんの講演会が11月28日、小平市立小平第十一小学校(小平市花小金井4)で行われた。地球を取り巻く環境問題を紹介し、「みんなが問題を知れば、必ず世界は良くなる」と訴えた。

谷口さんは、日本の大学在学中に起業して得た資金でイギリスに留学。卒業後、ドイツに移住し起業したが、2019年、気候変動の深刻さを伝えるため活動団体「地球を守ろう」を設立。現在は帰国し、国内を中心に講演会を年間約500回行っている。

今回の講演会は、同小開校55周年記念の一環として同校とPTAが共催するもので、聴講対象は5年生の児童。PTA会長の横野亜希子さんは「5年生は授業でSDGsについて学んでいる。単に学ぶだけでなく、どうすれば解決するかを考えるきっかけになれば」と期待を込める。

講演では、実際に起きている水害や火災、干ばつの動画を、谷口さんの経験などを交えながら紹介。今地球で起きている環境問題を提起したうえで、「1人の100歩より、100人の1歩が問題を解決する」と提案。「努力の大小より、それぞれができることを、それぞれの場所でやるのが大切」との話に、身を乗り出して聞く児童の姿も見られた。

2023年7月

日立市小中学校「気候変動のお話し」プロジェクト



入さんが気候変動について講演。日立市平和町

「みんなが知れば変わる」

日立市立小 環境活動家・谷口さん講演

環境活動家の谷口貴久さん(35)の講演会が6月23日、日立市平和町の市立中小路小で行われた。深刻化する国内外の気候変動の現状について説明し、「大きく見える問題も、自分たちの毎日の生活とつながっている。みんなが知れば必ず変わる」と訴えた。

講演は、同市のボランティア支援団体「ワイエスフオワード」(庄司裕紀恵代表)が主催。23、29両日に市内小中学校計7校で実施した。

中小路小では、地球温暖化の影響による豪雨災害や

火事、南少しいも使って温室効果的。食べ残るエネルギーな解決に向ける分なりにほしい6年生は「土砂で起きたべ物を残し」と話



2023年9月15日 茨城県高萩市小学校

高萩市にて。

環境活動家 谷口たかひささんの気候変動のお話を開催してきました。

松岡小、松岡中、秋山小の3校です。

高萩市も、先週金曜日の線状降水帯発生により大変な被害を受けました。

今回開催した松岡小は校舎も浸水してしまい、火曜日まで臨時休校していました。

もしかしたら開催は難しいかなと思っていましたが、復旧したての学校で予定通りの開催。

実施を決断してくださった校長先生に感謝です。

小学生も中学生も、真剣にお話に聞き入っていました。

中でも、松岡中学校の子達は、気候変動のお話と同じくらい大切な、自己肯定感のお話に感銘を受けた子も多く、自分の悩みを踏まえた質問なども出ていました。

今この時期に聞くことの意味は、大きいと思います。

主催: YS FORWARD 代表 庄司裕紀恵



かいじネットワーク



気候変動の現状学ぶ

甲州 環境活動家が講演

国内外で活動する環境活動家、谷口貴久さん(33)の講演会が18日、甲州・市民文化会館で開かれ、市民ら約100人が気候変動問題による国内

外の現状や課題について学んだ。

谷口さんは大阪府出身で、大学卒業後、ドイツで起業。ドイツの子どもたちが気候危機

機に関してデモ行進する光景を目の当たりにしたこと

~~~~~

気候変動問題について語る谷口貴久さん  
|| 甲州・市民文化会館

をきっかけに、2019年から日本各地で千回以上、講演会を開いている。

「気候危機の実態と地球と仲良くする生き方」と題して講演。ドイツでのデモ行進の様子や世界各地で発生する大規模な森林火災、海面上昇などの環境問題について動画を交えて紹介した。谷口さんは「新たに何かを始めるよりも今の生活を見直して改善する引き算が重要。自分の頭で考え、行動することが一番大切なことだ」と呼び掛けた。

この日は韮崎市でも子ども向けの講演会が開かれ、参加者が地球環境の問題について考えた。

ひと

10カ月で445回の講演をした環境活動家

谷口 貴久 さん(32)



以前の肩書は「ドイツ在住の実業家」だった。今は「ホームレス環境活動家です」と笑う。一昨年9月から講演を始め、ひたすら全国を回る。外国にいた期間を除く10カ月で445カ所を回った。話す内容は気候変動だ。自然が壊れるだけではない、と説く。引き起こすのは地球規模での土地、食料の奪い合いであり、「気候変

動で真っ先に失われるのは自然ではなく平和」と熱っぽい。大阪府出身。関西大でIT、英・マンチエスター大で英国史を学んだ。ドイツで貿易会社を営んでいたとき、地元の子供たちが学校を休んで環境デモをした。

発起人だった14歳の女子中学生に話を聞くと、「気候変動を政府に止めてもらおうと思ったが、やってくれない。だから自分で止めようと思った」。勉強する中で彼女は問題の深刻さを知る。「私には将来がない。なのに大人は口だけ。行動する大人を一人も見ることがない」と言った。

「言われたとき、ごっつい悔しくて、悲しくて……。こういう子が『あなたは違うね、行動してくる大人ね』と言ってくれる大人になりたかったんです」

ドイツで街頭に立ち、やがて日本を講演して回り始めた。昨年3月にドイツの家を処分し、今は旅から旅へのホテル暮らし。「疲れますよ。講演しているときはいいですが、電車やバスでの移動がきついです」

文・写真 依光隆明

# 2019年12月30日 地球環境研究センターにて 環境活動家と気象学者のやさしい話から地球の未来を考えよう

将来が存在しないのになぜ勉強するのか

現在、世界中で16歳未満の子どもが学校に行かなくなっています。平日、「そろそろ本当になんとかしてください」と大人に訴えかける集会をしています。僕が住んでいるところは都会ではないのですが、それでも4万人以上集まっています。都会ではもっと多いです。僕の家で近々で行われている活動の主宰者は14歳の女の子です。僕も彼女と一緒に毎週活動していますが、この活動をしている理由を聞いたときの彼女の答えが、僕と一緒に活動を始めたきっかけです。彼女は、「大人たちは子どもに自分の将来のために学校に行って勉強しなさいと言います。言われた通り自分の将来のために学校に行って勉強してわかったのは、私たちに将来なんて存在しないということ」と言うのです。ドイツでは気候変動の問題について学校で学びます。さらに「大人たちはみな口をそろえて子どもが一番大切と言うのに、本当に私たちの将来を守るために行動してくれている大人を私は一人も見ることがない」と話すのです。16歳未満は日本と同様ドイツでも投票権がありません。政府の気候変動への取り組みという自分たちに大きな影響がある方針の決定に、投票という方法で自分たちの意思を表示できないので、逆に学校で教育を受けるという権利を放棄して大人たちに訴えていると言うのです。僕も大人です。「大人たちが何も動いてくれない」と言われたときにはとてもショックでした。「他の大人は動いてくれないけど、あなたはちゃんと私たち子どもたちの将来を考えて行動してくれているね」と彼女に言ってもらえる大人でありたいと思い、一緒に活動しています。また、いろいろな形で発信もしています。そうするとご意見だけではなく攻撃みたいな内容もたくさんいただきます。僕は一切気にしないのですが、まずいなと思っていることがあります。攻撃してくる人たちは自分で声を挙げ、投票などによって意思表示することができるのです。しかし、この問題の影響を一番受ける子どもたちは自分たちで声を挙げて、社会的に自らを守ることができません。問題を生み出してきた側、対策に取り組みなければいけない側が自身のために声を挙げていて、問題を生み出していないのに影響だけを受ける側は声を挙げて自分たちを守れないというアンバランスで理不尽な構図がとても嫌いです。こういう弱い立場の人たちに寄り添って、かわりに声を挙げて守ってあげないと、後で後悔してももう守れなくなるようなポイントを迎えようとしています。

3つの希望

ちょっと暗い話をしましたが、三つ大きな希望があります。一つ目は私たちがまだ、気候危機という問題の深刻さについて知らないことです。みんなが知っているのにここまで深刻な状況だったらそれは絶望的です。でも、今まで知らなかった人がこの深刻さを知ったら変わります。そこでまずは知ってもらおうと思い、僕は2019年9月の国連の気候行動サミットの時期に日本に帰国し、47都道府県を回って講演しました。

二つ目の希望は、私たちがまだ、自分のもつ力について知らないことです。政府、企業、メディア、銀行などは、そもそも私たちにずっと支えられてきたものです。政府は投票で、メディアは見るという形で、企業からは物を買ってお金を流していますし、銀行も預金して支えています。そういう私たちの支援先を選ぶ行為を変えると世界を変えることができます。ですから、日々の何気ない行動にどれだけすごい力があるかというのを気づくのが気候変動に対処する2つ目の希望だと思っています。

3つ目の希望として、気候危機には大きなチャンスが二つあるということです。一つは、日々の生活のなかで知らず知らずのうちにお金を中心に物事を考えて、そのために地球環境を破壊しても構わないみたいになっている経済システムを見直す絶好のチャンスです。二つ目は、気候変動は、全員に少しずつ原因があり、影響があるので、全員で協力してまともな乗り越えることができない共通の課題だということです。この課題を与えられて、人類が一つにまとまるチャンスだと思っています。

私たち大人は気候変動の影響を受ける最初の世代でこれを食い止めることができる最後の世代でもあります。きちんと行動して、本気の大人のかっこいい背中を子どもたちに見せていけたらと思っています。

気候の危機は止められるか？ 地球温暖化と私たちの未来  
江守正多（地球環境研究センター 副センター長）



1970年神奈川県生まれ。  
東京大学教養学部卒業。同大学院総合文化研究科博士課程修了。博士（学術）。  
1997年より国立環境研究所に勤務。地球環境研究センター気候変動リスク評価研究室長等を経て、  
2018年より同副センター長。2016年より低炭素研究プログラム総括、社会対話・協働推進オフィス代表（すべて兼務）。専門は地球温暖化の将来予測とリスク論。気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第5次・第6次評価報告書主執筆者。





YouTube密着ドキュメンタリー「分岐点」：  
日本一講演に呼ばれる男 環境活動家 谷口貴久

[https://youtu.be/SebMlasL8Nc?si=NIMCXt3XT\\_-f0M1\\_](https://youtu.be/SebMlasL8Nc?si=NIMCXt3XT_-f0M1_)



# 03.学校講演感想

突然のDM失礼します。  
昨年本校でのご講演に参加した  
教員です。  
その日から自分の人生、子ども  
たちに対する接し方、考え方が  
変わりました。谷口さんの投稿  
からたくさんの学びがあり、毎  
日が面白いです。  
本当にありがとうございます。

DM失礼致します。  
小学生の時に谷口さんのお話  
を聞いて、それで自分が凄く変  
わって、それ以来凄く楽しいで  
す。  
その日以来僕の憧れは谷口さん  
です。本当にありがとうございます。

中学3年生児童(3~4年前の大阪での小学校講演)

今まで学校でも似たような話を  
たくさん聞いてきましたが、す  
べてきれいごとにかきこえて、共  
感できる内容ではありませんで  
した。でも、あんなに前のめり  
になって話をきいたのは初めて  
でした。ほんとに感謝しかない  
です。  
私はこの前の講演をきき谷口さ  
んのような活動をしたいです。  
自分から何かをやりたいと思っ  
たのは初めてでした。谷  
口さんの講演をきいてこんな相  
談をするのは少しためらいまし  
たがどうなるかわからないこの  
夢を私は追いかけてもいいので  
しょうか？

中学生児童

今日は、XXXXXXXXXX中学校に来て  
いただきありがとうございます。  
す。

自分は、環境問題について、  
「行動したい」と思ってい  
ても、必死に頑張っ問題解決に  
取り組んでいる人がいるのにも  
関わらずに、行動できていませ  
んでした。  
でも、今日の谷口さんのお話を  
聞いて、「今、生きている人生  
は、一度きりかだから、自分  
の行動から周りに広がってほし  
い」と思いました。  
谷口さんのおかげで、自分の思  
いが変わりました。  
小さなことから自分で環境問題  
について意識をもって行動した  
いです。

今日は、本当にありがとうございます。  
しました。

小学校の先生が、また逢いにきてくれました。  
その小学校の子どもたちから、この写真を僕  
に見せて欲しいと頼まれたそうです。  
「お話を聞いて、みんなで給食の食べのこしセ  
ロにしてるよ!!」とのこと。

「食べのこしセロにしてるよ！」  
講演させてもらった小学校の  
小学生が後日見せてくれた写真↓



全国各地の学校から呼んでもらえるようになり、これまでに日本の%以上、のべ300回を超える学校講演をさせてもらいました。(2023年12月11日現在)

訪れた学校の子どもからはたくさんの連絡や相談をもらうけど、先生や親御さんからもらう事もあります。

投稿画像は、昨年訪れた学校の先生から頂いたDM。

”突然のDM失礼します。

昨年本校でのご講演に参加した教員です。

その日から自分の人生、子どもたちに対する接し方、考え方が変わりました。

谷口さんの投稿からたくさんの学びがあり、毎日が面白いです。

本当にありがとうございます。”

...こんなに嬉しいことはない。学校講演は、わずが時間にも満たない時間です。

ですが、僕がこれまで生きてきた僕のゼンプ、約00,000時間の経験を、その1時間に凝縮するように努めています。

実際にその1時間だけでも、「あれから人生が変わりました」といDMを子どもからたくさん頂き、それは本当に嬉しいことです。

だけどやっぱり、僕とは比にならないたくさんの時間をその子と過ごす、先生や親御さんの影響は絶大だと思います。

だからこそ、おこがましいかも知れませんが、子どもだけでなく、先生や親御さんにも一緒に聞いて頂きたいのです。

僕が正解とか、優れているとか、そういった話ではなく、あくまでも一つの価値観、選択肢、生き方として。

この先生は、「人生が変わった」、「子どもたちに対する接し方が変わった」、「毎日が面白い」とおっしゃってくださっている。

子どもに対してどう接するかも大切ですが、この先生が「毎日が面白い」というのが何より一番嬉しくて、大切な事だと思います。

そういう人をどんどん増やしたいから、伝え続ける。

来年はありがたい事に、ますます海外からもオファーを頂いており、日本にいる時間は限られてきていて、それも埋まってきています。

引き続きぜひお早目に、学校講演や一般講演など、呼んでください(相談ベースからでも、とりあえずDMください)。



突然のDM失礼します。  
昨年本校でのご講演に参加した  
教員です。  
その日から自分の人生、子ども  
たちに対する接し方、考え方が  
変わりました。谷口さんの投稿  
からたくさんの学びがあり、毎  
日が面白いです。  
本当にありがとうございます。

今は中学3年生になるだろうこの子は、3~4年前に大阪の小学校で僕の小学校講演を聞いてくれたという。

青春真っ只中のこの子に、自分が憧れだと言ってもらえる事ももちろん嬉しいのだけど、

何より嬉しいのは、”話を聞いて、自分が凄い変わって、それ以来凄く楽しいですというところ。

この子が自分の人生を楽しめているのであれば、そんなに嬉しい事はない。

僕ぐらいの年齢の人は、10代の子に話す時たいてい、「あーしないとダメだ、こーしないとダメだ」みたいな説教臭い事を言う傾向にあると思う。

だけど、そんな大人の自己満足よりも大切なのは、まずは認めて、ありのままのその人を受け入れてあげる事だと思う。

保身と他責だらけの歪んだ社会では、そのシワ寄せはいつも一番立場が弱い人のところへ行ってしまう。

特にこの3年間のコロナ渦で、アンフェアな制限のシワ寄せを最も受け、大人不信になってしまっていた子も少なくなかった。

僕にできたのは、学校講演に呼んでもらい、自分の足でそこに行き、直接自分の口で子どもたちに伝えるということ。

1時間ぐらいしかない、1回勝負の学校講演で、どのくらい子どもに伝えられるかが心配だったけど、とにかく毎日ベストを尽くした。

ボランティアの事も多い学校講演で、金銭的にも体力的にも正直キツイ事もあったけど、自分のやりたい大人像を追い続けた。

そうしているうちに、こいうDMをたくさんもらえる事になった事をふまえると、実を結んできているようで感動する。

これまでで、日本の1%以上にあたる、のべ300を超える小中学校でお話をさせてもらった。

つまり、のべ10万人以上の小中学生にお話しをさせてもらった事になる。

その人たちがこれから創っていく社会を見てみたいし、僕も一緒に創っていきたい。

子どもたちと積極的に関わっていく事は、未来に対する最高の投資だと思う。

DM失礼致します。

小学生の時に谷口さんのお話を聞いて、それで自分が凄い変わって、それ以来凄く楽しいです。

その日以来僕の憧れは谷口さんです。本当にありがとうございます。



# 問合せ先

---

## 谷口たかひさ事務局 公式ライン

※活動・講演会などのお問い合わせや取材のご依頼は、公式lineからお送りください。



## 地球を守ろうHP

<https://chikyuwomamorou.com/>

## 谷口たかひさ Instagram



@takahisa\_taniguchi

[https://www.instagram.com/takahisa\\_taniguchi/?hl=ja](https://www.instagram.com/takahisa_taniguchi/?hl=ja)